

平成 25 年 3 月 26 日

財政福祉委員会委員
山口 清明 様

健康福祉局長

敬老パス市民アンケート結果について

日頃は本市の福祉行政に格別のご指導を賜り、厚くお礼申し上げます。
標記のことにつきまして、下記のとおりご報告申し上げます。

記

1 内容

平成 25 年 1 月 9 日から 1 月 23 日まで実施した敬老パス市民アンケートの結果について、3 月 27 日に開催される「今後の高齢者の生きがい施策のあり方検討分科会（第 6 回）」において報告するもの。

2 回収状況

高齢者向けアンケートは、対象 3,000 人に対し、有効回収数は 2,083 人であり、有効回収率は 69.4%となった。20~64 歳の方向けアンケートは、対象 3,000 人に対し、有効回収数は 1,304 人であり、有効回収率は 43.5%となった。両者を合わせた有効回収率は全体で 56.5%である。

区分	配布数	有効回収数	有効回収率
高齢者（65 歳以上）	3,000 部	2,083 部	69.4%
20~64 歳の方	3,000 部	1,304 部	43.5%
合計	6,000 部	3,387 部	56.5%

（住民基本台帳に基づく無作為抽出、郵送配布・郵送回収）

3 アンケート結果（概要）

別紙のとおり（詳細は別添）

4 参考資料

名古屋市敬老パス制度の調査について（（株）日本能率協会総合研究所）

敬老パス市民アンケート結果（概要）

(1) 目的

平成23年度に実施された行政評価（外部評価）において、「見直し」の判定を受けた敬老パス制度について、現行の敬老パス制度に対する意識や利用実態等を調査し、第6回以降の「今後の高齢者の生きがい施策のあり方検討分科会」の検討資料とするため実施するもの。

(2) 概要

対 象	満65歳以上の市民	満20～64歳の市民
方 法	郵送（無記名方式）	
時 期	平成25年1月9日（水）から1月23日（水）	
人 数	3,000人	3,000人
有効回収数 （回収率）	2,083人 （69.4%）	1,304人 （43.5%）

(3) 主な調査結果

ア 現在の交付状況（65歳以上の方）

区 分	回 答 数	割 合
受けている	1,584人	76.0%
以前受けていたが、現在受けていない	199	9.6
受けたことがない	274	13.2
回答なし	26	1.2
計	2,083	100.0

イ 利用の主な目的（65歳以上の方）

複数回答可（3つまで）

区 分	回 答 数	割 合
	人	%
家事・買い物	887	56.0
病院等への通院	796	50.3
趣味・学習	459	29.0
行楽や神社・お寺への参拝	388	24.5
親戚・知人宅訪問	262	16.5

ウ 交付を受けていない主な理由（65歳以上の方）

複数回答可（3つまで）

区 分	回 答 数	割 合
	人	%
自分で車を運転するから	225	46.0
あまり遠くへ出かけないから	125	25.6
家族が車で送迎してくれるから	103	21.1
自家用車・市バス・地下鉄以外を使用	79	16.2
福祉特別乗車券等を利用しているから	58	11.9

エ 敬老パス制度についての意向（20～64歳の方）

区 分	回 答 数	割 合
	人	%
自分も将来使ってみたい	520	39.9
自分が将来使うかどうか分からないがよい制度であると思う	372	28.5
家族等が使っており、よい制度であると思う	222	17.0
あまりよい制度でないと思う	91	7.0
分からない	52	4.0
回答なし	47	3.6

オ 敬老パスの対象年齢（共通）

区 分	20～64歳の方	65歳以上の方
現行の対象年齢である65歳以上の ままでよいと思う	% 70.2	% 52.3
年齢を引き上げるべきだと思う	23.3	33.2
分からない	5.5	12.0
回答なし	1.0	2.5
計	100.0	100.0

カ 利用者の一部負担金（共通）

区 分	20～64歳の方	65歳以上の方
現行の利用者の一部負担金のままで よいと思う	% 51.6	% 64.2
利用者の一部負担金を引き上げるべ きだと思う	39.3	20.1
分からない	8.2	12.7
回答なし	0.9	3.0
計	100.0	100.0

キ 利用限度額・上限額の設定（共通）

区 分	20～64歳の方	65歳以上の方
現行の敬老パス制度のままでよいと 思う	% 58.3	% 66.9
利用限度額・上限額を設けるべきだ と思う	33.0	18.1
分からない	7.8	12.0
回答なし	0.9	3.0
計	100.0	100.0